

第31回 DAAS運営委員会 議事要旨(案)

1. 日 時：2015年9月14日(水) 午後2時00分～午後3時30分

場 所：株式会社 山下設計 会議室

東京都東京都中央区日本橋小網町6-1

2. 出席者(敬称略 順不同)

運営委員長：三塩(日本設計)

委 員：本多委員(山下設計)、末富委員(住団連)、鈴木委員(事務所協会)、
早川委員・鈴木委員(士会連合会)、早川委員代理 安生氏(日建設計)、竺委員
(建築学会)、青木委員(BCJ)、中田委員(宮城大学)

事 務 局：武藤

3. 配布資料：

資料1：第10期総会資料一式

資料2：第2回企画運営部会 報告

第30回DAAS運営委員会議事要旨

4. 議事：

■承認事項

[議案1] 第10期総会資料(案)について

資料1に基づき、事務局より総会資料(案)を読み上げ。

第10期事業計画(案)はコンテンツ整備事業における、メタデータ等のデータベースに関する修正内容の追記、収支予算(案)については、収支差額を第9期黒字分148万程度におさえるよう修正をし、後日、委員にメールで諮ることとした。

【以下、資料についての意見等】

(事務局)第10期の予算案については部会での詳細な検討次項は省略したいと考えている。

資料については添付の補助金事業の成果報告書、間に合えばDVDを用意したいと考えている。

(委員長)第9期については企業会員の会費減額があったが単年度では黒字予定となっている。第10期事業計画(案)の(4)コンテンツ整備については、国庫補助金の整備以外にデータの修復・修繕も進めるため、文言を追加する必要があると思われる。総会では広報について、少し口頭で報告をしたいと考えている。収支予算(案)については、企画運営部会での事業案の内容をすべて盛り込んだ予算支出として、現状では400万の単年度の赤字という設定をしている。これは、当委員会での意見を含めて再検討したいと考え

- ている。第10期に事業整備優先した予算設定とするかどうか意見を頂きたい。
- (事務局)事務局の人員に限りあるため、企画運営部会で案がでた事業の執行は難しいというところでもある。
- (笹委員)企画運営部会で詳細を検討した上で具体的な予算が確定するわけだが、可能性を考慮して全ての事業を盛り込んだ形にしている。
- (事務局)以前企業会員の方から、単年度赤字での設定というのは好ましくないという意見もあった。9期での費用圧縮分を含めると、第10期で積極的に事業をすすめるということも案として考えられる。
- (委員長)第9期の黒字額(148万)を第10期で執行するというのがバランスがとれた方針ではないかと思われる。2年間で執行ということではいかがだろうか。
- (事務局)昨年度予算に148万分を上乗せという予算案になるだろうか。
- (青木委員)1,000万の収入に対して、400万の赤字というのは大きい。繰越金があるので、集中する事業について説明が出来ればよいと思われるが、黒字分の148万というのが妥当なところではないだろうか。
- (事務局)圧縮部分としては、Webサイト改修とコンテンツ整備事業費の項目と考える。広報事業は新規事業として項目を残して費用の内訳を再検討する。改修のための人件費については雇用する立場として、法定福利費や手続き等が煩雑となる為、短期の派遣社員の雇用と考えていた。それをアルバイトなどに変える、事務局のある普及センター内のセキュリティの問題も大きい為、オンライン上でのデータ処理という方法を検討したい。
- (笹委員)委託となるだろうか。雇用となると難しいのだろうか。
- (事務局)委託となった場合の費用が大きくなるのが懸念される。改めて方法を検討しなければならぬと思われる。
- (委員長)しかし第10期の間にデータ修正はすすめておきたい事業である。
- (事務局)収支予算については修正し、メール審議として委員の皆様にご諮りたい。

第10期事業計画(案)の以下下線部分を修正・追加(メール審議後、以下内容を確定事項とする)第10期収支予算案は別紙にて送付 メール審議後、確定事項として議事要旨案に追加する。

2. 事業計画

- (3)「企画運営部会」を中心とした事業推進と、運営体制安定化・強化策等に係る検討
第9期、運営委員会の下に設置した「企画運営部会」運営委員会との連携をしつつ事業計画に基づく事業を推進する。

また、今後のDAAS活動に資する検討や、第8期運営基盤安定化検討WGにおける検討結果をふまえて、一層の運営基盤安定化へ向けた検討を継続する。

① 運営基盤の安定化方策検討(継続)

(ア) 法人化検討

- (イ) 他機関との連携に関する事項
- (ウ) 国交省への協力要請、等
- ② 事業計画に基づく事業実施や企画検討
- ③その他、運営委員会承認事項の事前検討 等

(4)コンテンツの整備

- ① 収蔵システム改修、収蔵データ再点検等
- (ア) 収蔵ポリシーの設定へ向けた検討
- (イ) 収蔵資料の検索性向上に資する、収蔵コンテンツの属性データ(メタデータ)の見直し作業
- ② 動画収録、デジタルデータ作成
- (ア) 第9期での議論を反映したコンテンツ制作
- (イ) コンテンツ作成支援金を活用したコンテンツ制作(前期より継続)

■ 検討事項・報告事項

[議案2] 第2回 DAAS 企画運営部会での検討事項報告 (第10期事業計画の件)

資料2に基づき、9月4日に開催された第2回企画運営部会での検討事項等を事務局より説明。

[議案3] 運営委員長・副委員長の選出について

第2回企画運営部会での議案として運営委員長の選出について検討したことを報告。

三塩氏の所属先での異動に伴い急遽、運営委員長を辞することとなった。残任期1年を笹委員に、その他企業会員の方々から副委員長を選出し、今後の引き継ぎを含めてすすめていくという案を芦原理事長も含め企画運営部会で検討したことを報告。(運営委員長は理事長が指定:DAAS 規約第6章 委員会 第36条3に関する事項)運営委員会の場において、改めてその案を報告。就任の件について、笹委員、本多委員(山下設計)が了解。安生氏については検討の上回答を頂く事となった。

【以下、意見 補足等】

(三塩運営委員長) 今後も委員として継続していく予定で、部会、事務局に参加するという予定だが、公的な立場としての委員長は所属先の異動により辞する事となった。運営委員長の交代にあたり、DAASは企業会員にも支えられており、企業会員から選出すべきではないか、という意見があったが、緊急の状況という事で、第9～10期の残任期1年を笹委員にお願いをして、副委員長を企業会員から数名選出という案を検討した。企画運営部会には芦原理事長が出席されており、本件の了解も頂いた。副委員長については、本多委員(山下設計)や安生氏(日建設計 早川委員代理)に、また建築センターの青木委員

にも御願ひ出来ないかという案もでていた。本日のこの機会にその件も検討していただきたいと思っている。

(竺委員) 緊急の状況としてやむを得ないということで1年は引き受けたいと考えているが、私は委員としては日本建築学会からの出席であり、DAAS の事業の本体である企業の会員の方から運営委員長を選出することが望ましいと考えている。運営委員長は残任期1年ということで、副委員長を企業会員の方に御願ひして引き継ぎをしていければと考えている。

(三塩運営委員長) これまでは副委員長ということも設定していなかったが、ご協力を頂けないかと考えている。

(青木委員) 日本建築センター理事長は監事ということで、立場上推進する立場に身を置くというのは、利益相反というおそれもあるため、実質的に協力は可能だが、立場上、副委員長ということは難しいと思われる。

(安生氏) 私自身障害はないのだが、早川の代理で出席しているため、一旦持ち帰り後日正式に回答をしたいと考えている。

[議案4] 会議室についての協力のお願い

普及センター内会議室が、試験等で終日空きがない状況が12月中旬まで続くため、会議室利用に就いて会員の協力を得たい旨事務局より依頼

以 上